

リニューアル後の挑戦

－新しい取組み－

社会福祉法人奉優会 デイホーム奥沢
水内 寿美子、田代 さおり、木村 孟

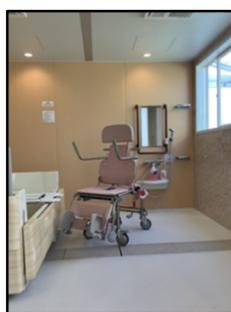
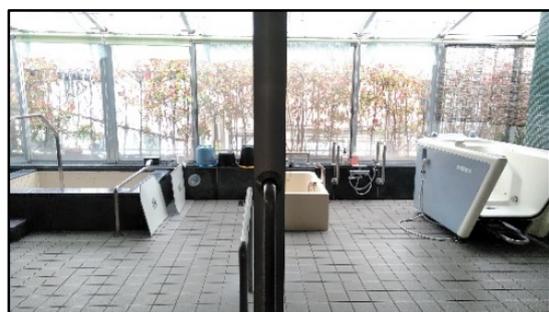
(リニューアル 新しい取組み ICT活用)

1. 目的

デイホーム奥沢は今年で開所 16 周年を迎えました。床や浴室などの老朽化も目立ち始めて、ご利用者の安全面を維持するために、リニューアル工事を実施しました。一時休業をして、コロナ禍で生まれ変わったデイホーム奥沢の新しい取組みをお伝えします。

2. 実践内容

令和3年3月～4月に掛けて、デイホーム奥沢はリニューアル工事を行いました。工事開始前には、ご利用者・ご家族・ケアマネジャーに説明をさせていただき、休業中の過ごし方を相談させていただきました。デイホームの利用を継続される方（7割）、他のデイサービスを一時的に利用される方（1割）、自宅で1か月過ごす方（1割）、ショートステイを活用される方（1割）という結果でした。デイホームの利用を希望される方は、同法人内のデイホーム野沢・等々力の家デイホーム・奉優デイサービス川崎有馬の3カ所に振り分けさせていただきました。その後は、送迎ルートの調整、振り分け先のデイサービスとの入浴枠の調整、お一人お一人の対応方法・処置方法の引継ぎ、職員のシフト調整など、各事業所責任者や看護師に相談し申し送りをしました。4月工事開始とともに、ご利用者も3カ所のデイサービスの一時的利用開始。デイホーム奥沢の職員も3カ所に振り分け、顔なじみの職員がいる環境作りをしました。送迎・入浴も馴染みの職員が対応することで、安心して頂けました。振り分け先事業所では、奥沢で導入予定のプロジェクターを活用したプログラムを始めているため、職員の研修にも役立ちました。リフォーム工事では、フロア床張り替え、トイレ扉交換、Wi-Fi 設置、大型スクリーン（プロジェクター）設置。3階にある入浴設備は2か月を掛けて全面工事を行いました。



3. 結果

5月1日、営業再開。久しぶりにお会いするご利用者、職員たちからは、「お元気でしたか?」「どこに行っていたの?」「お会いできて嬉しいわ」など涙を流しながら再開を喜ばれる方もいました。「床がきれいになって、転ぶ心配がないわね」「テレビが大きくなって、とても見やすい」「外を見な

